

この講座は終了いたしました。ご参加ありがとうございました。

平成27年度
第38回

放送

受講者募集

受講
無料

県民大学



愛媛県では、県民のみなさまに豊かな教養と創造力を培っていただくため、「放送県民大学」を下記の県下3会場で開催します。各会場ごとに計3回、講座に関する映像をご覧ください、愛媛大学の先生方による講義を受けて、知識を深めていただきます。

中予会場 松山市



愛媛大学
南加記念ホール

◆開講時間／18：00～21：00
◆定員／各150名
※ 駐車場の数が限られております。公共の交通機関、または近隣の有料駐車場をご利用ください。

10/9金 学び舎 えひめ
講義内容 東・中・南予ゆかりの近現代文学について
～芥川龍之介から漫画家まで～
講師 愛媛大学教育学部 准教授 青木 亮人

10/23金
講義内容 日常歌の系譜
～民権演歌から昭和フォークへ～
講師 愛媛大学 元教授 宇和川 耕一

11/6金
講義内容 落語と哲学
講師 愛媛大学法文学部 教授 松本 長彦

東予会場 新居浜市



愛媛県
総合科学博物館

◆開講時間／13：30～16：30
◆定員／各60名

9/27日 学び舎 えひめ
講義内容 国際連合による安全保障
講師 愛媛大学法文学部 教授 檜林 建司

10/25日
講義内容 食と地域のブランド論
講師 愛媛大学法文学部 准教授 大谷 尚之

11/22日
講義内容 小説『檸檬』をめぐる
講師 愛媛大学 非常勤講師 愛媛大学附属高等学校 教諭 谷口 浩一

南予会場 西予市



愛媛県
歴史文化博物館

◆開講時間／13：30～16：30
◆定員／各60名

9/12土
講義内容 『古事記』を読む
～神話に見る男と女～
講師 愛媛大学 非常勤講師 聖カタリナ女子高等学校 教諭 田中 千晶

9/26土
講義内容 恋と友情の物語
『ダウンタウンヒーローズ』
講師 愛媛大学法文学部 准教授 秋山 英治

10/24土
講義内容 万葉のレクイエム
～挽歌を中心に～
講師 愛媛大学法文学部 教授 清水 史

主催：愛媛県生涯学習センター、愛媛大学

後援：愛媛新聞社、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

講師の紹介

中予会場



青木 亮人

(あおき まこと)

1974年、北海道生まれ。同志社大学、同大学院修了。博士号(国文学)。現在、愛媛大学教育学部。専攻は近代俳句・文学等。

愛媛県には近現代文学ゆかりの土地が多く、それは正岡子規や高浜虚子等の俳人のみではありません。東予の川之江から南予の愛南町まで多くの市町村に意外な文学や文化が関わっており、作品の舞台になった土地もあれば、それぞれの土地から輩出した文化人や貴重な文化財も少なくありません。芥川龍之介の他に太平洋戦争と司馬遼太郎、マンガやよさこい節等も交えながら、愛媛と近現代文学・文化等の関係を紹介していきます。



宇和川 耕一

(うわがわ こういち)

愛媛県出身。元愛媛大学法文学部教授。現在、松山大学および愛媛大学非常勤講師(ドイツ語)。主な研究対象は風景やポピュラー音楽などに関わる文化表現。

昭和30~40年代、ギターを抱えた若者たちによって数多くの歌が作られ、歌われました。そのいわゆる「フォーク」の中でも非常に日常的・身近な内容の歌は、それまでの流行歌などにはなかった新たな表現世界を作り上げたと言えます。直接的なきっかけとなったのはアメリカのフォークソングですが、明治の「民権演歌」にさかのぼって、1世紀以上にわたる日本人の暮らしと歌の関わりをみていきたいと思っています。



松本 長彦

(まつもと おさひこ)

高知県出身。愛媛大学法文学部教授。専攻は、哲学・哲学史、特にデカルトからカントに至るヨーロッパ近代哲学。

落語と哲学。一方は洒落の塊、一方は小難しい理屈の塊。一見まったく関係のない、むしろ対極にあると思われがちな両者の間にも、見方によっては、意外に深いつながりがあります。所詮は、どちらも人間が考え、行っていることですから。落語を素材にして、そこから人間存在や世界の真理に哲学的(=思想文化論的)に迫る糸口を探ってみたいと思います。

東予会場



榎林 建司

(ならばやし たけし)

兵庫県尼崎市出身。京都大学法学部、同大学院法学研究科を経て、1990年、愛媛大学助手。2013年より同教授。専攻は国際法(特にPKOなど)。

創設70年を迎える国際連合に対しては、2003年のイラク戦争のような単独主義的な武力行使を防ぐとともに、1994年のルワンダ大虐殺のような事態を防ぐため効果的に介入することが求められています。こうした課題に対し、国連はいかに取り組んでいるのでしょうか。これは、「国際法の父」と呼ばれるグロティウス以来の、根源的な問いでもあります。百点満点の答えを見つけることは至難ですが、少しでもまじな世界を作るために何ができるか、考えたいと思います。



大谷 尚之

(おおたに なおゆき)

宮城県出身。愛媛大学法文学部准教授。専攻は農業経営学。研究テーマは、食品と地域のマーケティング。

近年、地域ブランドづくりに取り組む地域が増加しています。しかし、成功しているケースはごく限られます。この講義では、「餃子のまち」宇都宮などを例に、食と地域のブランドづくりについて考えます。前例がない中で、どのように問題解決を図っていったのか、その知恵と工夫を探ります。



谷口 浩一

(たにぐち こういち)

愛南町出身。愛媛大学附属高校教諭・愛媛大学法文学部人文学科非常勤講師。近代文学を好みます。

不吉な塊に支配された「私」の掌に握りしめられた一粒のレモンが、重苦しい世界から抜け出すための唯一の救いである。梶井基次郎の小説『檸檬』は、現在でも高校国語の教材として採用される作品の一つです。色彩感覚あふれる表現を駆使して描かれる作品を、改めて読み味わいたいと思います。

南予会場



田中 千晶

(たなか ちあき)

愛媛県出身。聖カタリナ女子高等学校教諭、愛媛大学法文学部非常勤講師。専攻は日本語学。方言話者の意識と、日本語教授法を研究。

『古事記』には、神世における天地開闢から、推古天皇の時代に至るまでの出来事が紀伝体で描かれています。そこには神話や伝説も含まれ、勅撰の正史である『日本書紀』よりも、文学的に楽しめる内容となっています。特に有名なのが、イザナギノミコトとイザナノミコトによる国生み神話です。そのような『古事記』に描かれる神々の姿を紹介しながら、日本最初の歴史書を皆さんと一緒に読み解いていきたいと思っています。



秋山 英治

(あきやま えいじ)

愛媛県出身。愛媛大学法文学部准教授。専攻は、日本語学。愛媛の方言を研究。

愛媛を舞台とした映画として全国的に知られる『ダウントウンヒーローズ』は、山田洋次監督の代表作の一つです。この作品は、愛媛県出身の作家・早坂暁氏が、終戦直後の城下町・松山を舞台として最後の旧制高校生たちの生活を描いた自伝的小説がもととなっています。貧しくもたくましく青春を謳歌する旧制高校生たちの姿を、映画とともに原作となった小説からみていきたいと思っています。



清水 史

(しみず ふみと)

神奈川県出身。国際連携推進機構長。法文学部教授。専攻は日本語学。日中音韻学交渉史及び愛媛の方言を研究。

人は生まれやがて死を迎えます。それが人の世の常です。死者を送ることは生きている人にとってはとてもせつなく悲しいものです。それは千三百年前の万葉人にとっても同じです。万葉集には数々の死にまつわる歌々が残っています。挽歌(ばんか)という歌のグループ名でそれらはまとめられています。ここでは、言霊によって表出された古代人の歌いあげをとりあげて、古代人の死生観の一端に触れてみたいと思います。

- 受講資格／原則として、県内に在住、もしくは勤務の方。 ○受講料／無料
- 申込方法／受講を希望される方は、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・希望会場をご記入のうえ、窓口または郵送、FAXでお申込みください。
※電子メールによるお申込を希望の方は、愛媛県生涯学習センターのホームページ (<http://www.i-manabi.jp/>) をご覧ください。
※定員に満たない講座は、開講日当日まで受け付けます。
- 受講の決定／※受講できる場合は、特にご連絡いたしません。

会場	申込先
愛媛大学 南加記念ホール (松山市) 所在地: 愛媛県松山市文京町3番 <small>※駐車場の数が限られております。 公共の交通機関等をご利用ください。</small>	愛媛県生涯学習センター 〒791-1136 松山市上野町甲650番地 TEL (089) 963-2111 FAX (089) 963-4526 Eメール top@i-manabi.jp ホームページ http://www.i-manabi.jp/
愛媛県総合科学博物館 (新居浜市) 所在地: 愛媛県新居浜市大生院2133-2	
愛媛県歴史文化博物館 (西予市) 所在地: 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2	